

朝、街頭でお会いしましょう!

# Wa!Wa!Wa!通信

わたるのわ! 人の和のわ! 輪が広がるのわ! 対話のわ! 平和のわ!

2010.10.31 No.100

## 100号記念特集号

9月議会報告、市政いろいろ、県政いろいろ

【発行者】

金子わたる後援会

渋川市石原1488-1 TEL. 23-8099



ホームページ <http://k-wataru.jp>



まちなかふれあいフェスティバル  
渋川かるた大会で審判を務める



商工会議所青年部・関東地区大会(太田)に  
参加。尾島ねぶた大太鼓の前でメンバーと



(社)日本青年会議所・全国大会(小田原)  
青年会議所もあと2カ月で卒業となります



渋川市倫理法人会・さわやか清掃  
渋川駅トイレ清掃ボランティアに参加



第5回子育てフェスティバル(北橋公民館)  
駐車場係で頑張りました



介護職員基礎研修講座開設に協力  
ジョブシティカレッジ・スマイル開校式であいさつ

ふんぞと  
大好きな渋川のために  
しっかりYES!  
はつきりNO!

日頃より私の議員活動にご支援、ご協力をいただき、誠に  
ありがとうございます。心からの御礼と感謝を申し上げます。  
国税庁の民間給与実態統計調査によると、民間企業で働く  
人が、平成21年中に受け取った平均給与は、405万9000  
円で前年を23万7000円下回っています。給与のうち「賞  
与」は56万1000円で、前年比8万5000円の大増減。  
「給料・手当」は349万7000円で同比4.2%減です。  
下げ幅は過去最大で、年収300万円以下の人が全体の4割  
を超えています。

県会議員の給与・賞与と比べた時、その責任の重大さをあ  
らためて痛感せずにはいられません(8ページ参照)。県政・  
県議会を身近にし「見える・感じる・役立つ」ものにするこ  
とが何よりも求められていると思っています。

決意新たに必ずやりとげます。  
皆さまもお体に気をつけてご活躍ください。

平成二十二年 十月

渋川市議会議員

金子わたる

# 22の公共施設の指定管理者決定、都市計画税は0.25%に、H21年度決算認定 一般会計の補正額は1億2,445万円、一般質問は看護師確保策やバイオマスタウンを質問

平成22年9月議会が9月3日～28日まで開催されました。公共施設の指定管理や9月補正予算、H21年度各会計決算等、51件の報告・議案を可決・承認しました。私の一般質問は、バイオマスタウン構想やグリーンツーリズム、地域防災、財政問題、看護師確保策としての看護学校運営費補助や奨学金制度創設について行いました。

## 公共施設の指定管理者 22施設で5年間の延長

市民会館等の22の公共施設の指定管理者が決まりました。  
運動施設や公園等は管理公社に、高齢者・障害者施設等は社会福祉協議会に、白井宿ふるさと物産館等は道の駅こもちで、H23年4月から5年間です。経営状況の厳しいスカイランドパークは3年間です。スカイテルメ等の日帰り温泉4施設は、公募による選定が始まりました。  
質疑の中で、老人センターやデイサービス、障害者施設は設置運営の在り方を23年度半ばまでに検討し、高齢者福祉計画、障害者福祉計画に反映することや、デイサービス等は指定期間内でも譲渡や売却も検討することが答弁されました。



渋川市民会館の指定管理料は5年間で6億1,084万円

## 一般質問

### バイオマスタウン構想書 H23年3月の提出は

**わたる** 渋川市は豊富なバイオマス資源に囲まれ、その活用によって地域の活性化が図られると考えてきました。

市も環境基本計画の中にバイオマス利用の推進を盛り込み、新エネルギービジョンも策定しました。H23年3月でバイオマスタウン構想書の提出が締め切られます。提出の考えは、また、国は二酸化炭素排出権取引等の施策も進め、閣議決定されています。環境先進地となるためにも、先駆的な取り組みが必要ではないか。  
**答弁** 国の新たな施策を踏まえて研究していきます。

### グリーンツーリズム 民間と協働した取り組みを

**わたる** 渋川市の豊かな自然や温泉、農業体験や環境施策を活かしたグリーンツーリズムやエコツーリズム、アグリツーリズムに取り組むことが地域の活性化につながると考えてきました。  
NPO等の民間団体と連携し、都市部からの交流人口を増やす取り組みは。

## 都市計画税0.25%に統一 8000万円減収

現在、都市計画税の税率は渋川地区0.3%、伊香保地区0.2%となっております。

都市計画税制度検討委員会では、伊香保地区の公共下水道改築事業に多額の事業費がかかること等を理由に、0.3%の答申でしたが、再検討の結果、H23年度より0.25%となりました。



都市計画税は下水道工事等に使用されます

## 談合問題調査特別委員会 反対多数で設置を否決

談合問題の調査特別委員会設置の議員提案は、賛成12・反対16で否決されました。議会独自の調査は必要と考えます。否決は誠に残念です。



農業体験事業『ふれあいファーム』

## H28年度より交付税減額 33年度には23億円減

**答弁** 観光を核として、農協や温泉旅館と連携して取り組んでいきます。

\*市町村合併が行われた場合、スケールメリットにより経費の節約が可能になることから、普通交付税額が減額されます。しかし、すぐには節約の効果がでないために、合併後11年目から15年目にかけて段階的に縮減されます。

**わたる** 渋川市の普通交付税は、H27年度までは合併特例措置で年間66億円程度の見込みですが、33年度には約23億2000万円が減額になり、年間42億8000万円になると予測されます。市の対応策は。  
**答弁** 組織機構の見直しや定員管理等の行政改革を進め、予算編成方式も検討します。

## H21年度決算

市税収納率は90.1%  
滞納繰越は8億8508万円

H21年度の市税は、126億5473万円の請求に対して、納付金額113億9897万円で、収納率は90.1%でした。  
市税の長期滞納の内、収納が見込めないとして不納欠損とした額が5949万円ありました。  
滞納繰越分は8億8508万円で、前年度より1億436万円増加しています。

## 公債費(借入金)総額 市民一人当たり72万円

H21年度、市の全ての会計(一般会計・国保・介護・下水道・農業集落排水・水道・病院会計等)の総額は543億6094万円でした。これに対し、21年度末(22年3月31日現在)の市の借入金の総計は612億5235万円で、市民1人当たり約72万円となっております。前年度は約71万5000円でした。広域組合負担分を入れると、さらに借入金が増えることとなります。

## 看護学校への運営費補助 学生への奨学金制度を

**わたる** 地方では医療の担い手である看護師不足も進み、地方都市の地域医療は崩壊しかけていると言われていきます。

渋川市には地区医師会立の准看護学校と看護専門学校がありました。看護専門学校は今年(H22年)3月に閉校となり、看護専門学校も来年度(H23年度)には生徒の募集を停止します。そして24年度からは、3年間の修年限で看護師国家試験の受験資格を得ることができる、北毛地域では唯一の看護学校として新たに開校します。

渋川総合病院でも看護師不足対策は緊急の課題です。市としても、看護師養成機関・市内唯一の高等教育機関としての運営費助成や、卒業後に市内医療機関に就職する学生への奨学金制度を、24年度より創設するべきと考えますが、市の方針は。  
**答弁** 看護学校開校に向けて、前向きに検討します。



H24年度、新看護学校へ  
渋川看護専門学校

ひかない！  
まけない！  
あきらめない！

# 金子わたるの【志】(こころざし)

## 「群馬に新しい若い風を」



現場第一主義は私の公約実現の要です。

皆さまの要望、つぶやきを実現するために、このまち 洪川で見て、聞いて、確かめて、このまち 洪川の声を県政に届けます。

**やります現場第一主義を！**

**わたるはやります**

『わ・わ通信 県政版』も必ずお届けします。

広報にはない洪川の姿を、皆さまの知りたい情報をお知らせし続けてきました。

議会と市民をつなぐ『わ・わ通信』を発行し続けて12年・100号となりました。

**わ・わ通信の発行も100号に！**

**わたるは続けます**

市民の代弁者として、皆さまの願い、希望、夢、つぶやきを県政に届けます。

市議会でも、**12年間一回も休まず**一般質問を続けてきました。

**あなたの声を県政に届けます！**

**わたるは約束します**

28歳の初当選以来、若さゆえの「おこり、うぬぼれ」があつてはならないと、早朝から通勤する方々に、通学の学生さんに、道行く人々にあいさつを続けてきました。もう12年になるうとしています。

**わたるは初心を忘れません**  
**おはようございます！ 今日もお元気で**

12年前、ふるさと洪川市のために自分のもてる力の全てを発揮し、元気な、夢と希望と誇りのもてるまちをつくりたいと決意し、市議会に挑戦し、3期目の任期満了を迎えようとしています。

この間、皆さまに支えられ、毎議会での一般質問、議会報告の発行等、市民と市議会・市政をつなぐことを第一に考え、議員活動をしてきました。

そして、この度、洪川の声を県政に届けるために、県政を皆さまの身近なものにするために、群馬県議会議員選挙に挑戦することを決意いたしました。

県行政のチェック機能はもちろん、洪川市民の声を県政の場まで届けると同時に、群馬県政を市民の皆さまに分かりやすくお伝えする。それが、県議会議員の役割です。

私は、必ず県政・県議会報告を行い、分ける県政・身近な県政・役立つ県政を実現させます。そして、掲げた約束を忘れることなく、皆さまとともに群馬に新しい風を起こす活動をするをお誓いいたします。

皆さまの力強いご支援・ご支持を、よろしく願っています。

# 金子わたるの【活動】

# 金子わたるの【歩んだ道】



老人保健施設の設立に携わり  
ソーシャルワーカーへ  
高齢者介護のエキスパート  
(抑制廃止研究会シンポジウム)



消防団員として  
安全・安心のために活躍  
現在、第6分団分団長  
(ポンプ操法競技会)



洪川中学校の生徒会長として  
スポーツ振興に取り組む  
現在、洪川テニス協会会長  
(市民スポーツ祭総合開会式)



(社) 洪川青年会議所で  
理事、監事を務める  
まちづくりを实践  
(ちびっこへそパレード)



洪川商工会議所青年部理事を務める  
若い経営者と力を合わせ  
商工業の振興に全力で！  
(伊香保ハワイアンフェスティバル)



全国の若手政治家との交流  
現在、関東若手市議会議員の会会長  
(第1回 全国若手政治家サミット)

**真っ直ぐな少年から市議に  
ふるさと洪川への思いは誰にも負けない**

**洪川中学校の生徒会長を**

バスケット部所属のちよつと生意気な、でも面倒見のいい、何よりも友達を大切にしている少年でした。

**第1回子ども議会の議員に**

中学3年生の時、初めて行われた『子ども議会』の議員に。「勉強しやすい環境づくりとそのため設備改善」がわたる議員の質問でした。

**洪川高校で第17回「権嶺祭」の実行委員長に**

洪川高校に進学後は、水泳部と演劇部に所属。2年に一度の文化祭では実行委員長に。舞台裏に回って初めてわかる準備の重要性和苦勞の多さを学びました。そのことは、今でもわたる議員の中に生きています。

**大学でドイツ語を学び、医学雑誌の編集者に**

これからは国際化の時代、語学が重要になると、獨協大学外国語学部へ進学。卒業後は医学雑誌の編集者として活躍。語学力を活かし、ヨーロッパへも海外取材メンバーとして派遣され、貴重な経験をしました。

**ふるさと洪川に帰り、洪川市議会議員に**

雑誌編集者時代、自分よりも厳しい環境の中で頑張っている多くの人たちがいることを目の当たりにしてきたわたる青年。その後、ふるさと洪川に帰って、人の役に立ちたいと平成11年に洪川市議選に立候補し初当選。28歳の時でした。



現場第一主義をモットーに



取材で学会に出席



生徒会長として体育祭で旗手を務める



2階に公民館が整備となる  
小野上総合支所

**小野上公民館  
総合支所2階に整備**

小野上公民館は老朽化に伴い、合併時に建て替えが計画されていましたが、H20年11月に総合支所2階での整備方針が決定されました。その後、耐震診断や基本設計が完了し、地域審議会や利用団体への説明が行われました。

整備規模は左記の通りです。

- ◎児童室兼図書室 123・98㎡
  - ◎講義室 188・44㎡(定員150人)
  - ◎ホール 155・10㎡(定員150人)
  - ◎学習室 41・22㎡
  - ◎調理室 44・62㎡
  - ◎和室 31・69㎡
  - ◎創作室 28・58㎡
  - ◎事務室 39・44㎡
  - ◎エレベーター 42・16㎡
- 23年6月より工事着工となり、24年4月開館予定です。

**小規模多機能型介護施設  
市内4カ所目が決定**

小規模多機能型介護施設は、通い泊まり・訪問介護を組み合わせ、住み慣れた地域で生活していくための介護保険の地域密着型サービスの施設です。

渋川市は4施設の整備計画で、21年度までに3施設が開設しています。23年4月開設に向けて、最後の施設整備が金井地内で始まります。



H22年4月に開設した  
小規模多機能型介護施設『ありまんち』

**国道17号 綾戸バイパス  
地元説明会開かれる**

国道17号綾戸バイパスは、渋川市上白井から綾戸トンネルを迂回して沼田市岩本までを結ぶ全長2.3kmのバイパスです。バイパスのルートとなる上白井上組地区と赤城町棚下地区で、用地測量・調査の土地立ち入りについての地元説明会が開催されました。

**上信自動車道  
金井・川島バイパス**

上信自動車道は渋川伊香保ICから吾妻を抜け、長野県の東部湯の丸ICを結ぶ80kmの地域高規格道路です。渋川市内は国道17号と中村上郷線(市役所通り)入沢と金井までの渋川西バイパスと、金井・川島・祖母島と箱島バイパスが計画されています。

渋川西バイパスが都市計画決定され、9月に金井・川島バイパスの地元説明会が開催されました。

川島バイパスは設計段階で問題が生じ、JR、東京電力と協議の結果、当初ルートより西側・山沿いに大幅変更となりました。

説明会でも様々な意見が出されましたが、道路の必要性を含め、地元へのしつかりとした説明・理解が必要です。



上信自動車地元説明会

**雇用促進住宅を買収  
市営住宅として使用計画**

雇用促進住宅は、需要減少や維持管理コストの面から、国の方針によりH26年までに廃止することになっています。

渋川市内には3施設・240戸があります。その内、2施設(渋川宿舎(半田)・金島宿舎)、160戸を購入し、市営住宅として活用する方針が示されました。

22年8月現在の、市営住宅の待機者が72名いることや、市営入沢団地12号棟(8戸)や県営住宅(36戸)が上信自動車道渋川西バイパス予定地になることがその理由です。

購入予定価格は1億5100万円です。建物は現状のまま、既存入居者の10年間の居住保証が必要となります。建物の耐震や所得制限の問題等、市営住宅として使用するために課題がたくさんあります。



雇用促進住宅・金島宿舎  
5階建、2棟、80戸

◎渋川宿舎	運営開始 昭和55年1月16日
	建設費 4億6,888万円
	敷地面積 5,091.34㎡
◎金島宿舎	運営開始 平成5年4月20日
	建設費 11億3,629万円
	敷地面積 6,258.66㎡

**都市計画区域再編  
小野上・赤城も区域指定**

現在は、渋川・伊香保地区の全域と、子持・北橋地区の一部が都市計画決定されています。

都市計画区域に指定されると、計画的な開発や一体的な都市政策を進めることができるメリットがある反面、建築行為に対して確認申請が必要となる等、手続きが複雑になるデメリットがあります。

今後、小野上・赤城地区の一部も都市計画区域に指定し、用途地域の指定、見直しを行う方針が示されました。

**上三原田歌舞伎舞台  
舞台修復費731万円**

重要文化財・上三原田歌舞伎舞台の修復事業費、731万9000円の補正予算が組まれました。舞台の床板修繕を中心に修復が行われます。



上三原田歌舞伎舞台で行われた  
全国歌舞伎サミット

**なくすな自校方式  
学校給食共同調理場  
3カ所・8000食へ変更**



自校方式調理場

た。H22年3月議会では、給食調理場再編整備に関する予算については「市民との合意の上で執行すること」という付帯決議もなされています。しかし、今回の変更案は自校方式を存続させるのではなく、廃止するものです。「市民との合意」も形成されていません。学校給食は、子どもの健康・食育に大きな影響を及ぼす重要なものです。このままでは自校方式がなくなってしまう。



市では、現在、共同調理場方式(渋川・子持・赤城)と親子方式(小野上、自校方式(北橋・伊香保)の3つの方式で調理をしています。これを、2カ所の大型共同調理場方式とする計画が進められてきました。

3カ所の共同調理場案(変更案)	
① ベイシア渋川店南側 渋川市行幸田350	
調理規模…3,000食	渋川南小 豊秋小
小学校5校 中学校3校	渋川西小 古巻小
配送時間最短…古巻中学校 3分	伊香保小 渋川中
配送時間最長…伊香保小学校 21分	古巻中 伊香保中
② 旧子持北幼稚園 渋川市中郷447-9	
調理規模…3,000食	渋川北小 金島小
小学校6校 中学校4校	小野上小 中郷小
配送時間最短…中郷小学校 2分	上白井小 長尾小
配送時間最長…小野上中学校 20分	渋川北中 金島中
	小野上中 子持中
③ 旧赤城南診療所 渋川市赤城町三原田82-2	
調理規模…2,000食	橘小 橘北小
小学校6校 中学校3校	三原田小 刀川小
配送時間最短…三原田小学校 3分	津久田小 南雲小
配送時間最長…南雲小学校 22分	北橋中 赤城南中
	赤城北中



もうすぐ完成  
駅前児童公園(石原)

**駅前児童公園整備  
全面リニューアル**

駅前児童公園のリニューアル工事は、整備面積0.7haで、総事業費は約1億170万円、21・22年度の2カ年にわたる事業です。親水水路の整備も進み、もうすぐ完成となります。

今後の都市計画公園リニューアルは金井児童公園、四ツ角1号公園整備と続きます。

**コミュニティFM放送  
20数カ所で電界調査**

コミュニティFMの調査事業費、85万1000円の補正が組まれました。周波数は70〜90メガヘルツで出力は20kw、市内20数カ所で電界調査を行います。庁内研究会において、防犯・防災情報や行政情報の利用、広告等の検討を行います。

# 9月定例県議会開かれる

9月21日から10月20日まで30日間にわたり定例県議会が開かれました。大澤知事から雇用対策、景気回復、子育て支援等に重点をおいた「県民生活の安心・安全の確保」「県内経済の活力向上」という2つの柱に沿った補正予算の方針が打ち出されました。

補正予算額	109億 126万円を追加し
当初予算	6,581億3,100万円と合わせて
現在の予算額	6,690億3,226万円となりました。

補正予算の主なもの	
① 小児医療センター管理棟増築	1,680万円(北橘地区)
② 児童養護施設整備費補助	3,810万円(子持地区)
③ ぐんまの木で家づくり支援	2,000億円
・省エネ住宅割増補助	30戸→160戸
・構造材補助	400戸→800戸
④ 地域子育て創生事業	8億2,738万円
⑤ 自殺対策強化事業	1,349万円
⑥ 新型インフルエンザ補助	3億1,200万円
⑦ 公共事業費の増額	17億5,000万円
⑧ ふるさと雇用再生事業	4億円



建て直される園舎別棟(子持山学園)

## 9月補正予算 小児医療センター管理棟増築工事

H22年4月の当初予算で事業化されたN・I・C・U(新生児特定集中治療室)増床3床に伴う看護師の増員等に対応し、小児医療センター管理棟の増築工事を実施するものです。総事業費3930万円で、現在の管理棟の一部に2・3階部分を増築し、更衣室の拡充、医療安全管理室の移設等を行います。



小児医療センター

## 子持山学園 施設整備費 補助追加

子持地区・吹屋にありますが児童養護施設『子持山学園』へ、耐震診断によって改築の必要性があると判断された建物への補助が、3191万円増額補正されました。さらに「小規模グループケア加算」が619万円追加され、総額3810万円となりました。

## おしえて

### 「質問」

県会議員さんのお給料やボーナスはいくら位になっているのかしら？私、一度も聞いたことがないので教えてください。

### 「答え」

群馬県議会議員の報酬(給料)は、県財政の危機的状況の中で、県条例で定められている額より少なくなっています。

ボーナスの支給月で見ても(左記の表参照)。

この他にも議会に出席する毎に一日当たり5400円(渋川地区選出の場合)の旅費が支払われます。

県会議員の地位や活動から見て、この給料・ボーナスは「高い、安い」。市民の皆さまはどう感じているでしょうか？

見える県政・身近に感じる県議会活動を通じて、県民の付託に答えることが県議員に強く求められていると思います。

## 給料・ボーナスは

◎平成21年12月では(21年12月10日支給)	
12月給料	830,000円×0.95 = 788,500円(5%の減額)
ボーナス	830,000円×1.45×1.65=1,985,775円
合計	788,500円+1,985,775円=2,774,275円
◎平成22年6月では(22年6月30日支給)	
6月給料	830,000円×0.95 = 788,500円
ボーナス	830,000円×1.45×1.45=1,745,075円
合計	788,500円+1,745,075円=2,533,575円

※この他に政務調査費30万円が毎月支払われます。

## 《議会報告発行資金にご協力ください》

初当選以来、発行を続けてきた議会報告も100号となりました。より充実した「わ・わ・わ通信」を発行し続けるために、みなさまのご協力をお願いいたします。

振込先: ゆうちょ銀行 口座番号10360-11733721 金子渡

## 金子わたる(渡) 1970年生まれ 40歳 妻と子2人の家族

渋川高校—獨協大学卒 28歳で渋川市議会議員初当選 3期目  
群馬若手議員の会役員、自治体議会政策学会員、消防団第6分団分団長、  
(社)渋川青年会議所監事、渋川商工会議所青年部理事、渋川市体育協会理事  
議会では環境、教育、財政、福祉、まちづくりと幅広く発言・提案